

千葉大学医学部附属病院で妊娠中に腹腔鏡手術をされた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年1月14日

産科・婦人科

現在産科・婦人科では、当科における妊娠中の腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出術の手術成績と妊娠帰結の後方視的観察研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2013年1月1日～2025年12月31日の間に当科で妊娠中に腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出術を受けられた方を対象に2026年1月12日までの診療情報を利用する。

1. 研究課題名

当科における妊娠中の腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出術の手術成績と妊娠帰結の後方視的観察研究

2. 研究期間

2026年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本研究の目的は、当科で妊娠中に腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出術を受けた妊婦の手術成績及び妊娠帰結を明らかにすることです。本研究の成果により妊娠中の腹腔鏡下卵巣腫瘍手術の適切な手術術式と管理法、その後の妊娠管理に関する産婦人科医向けの有用な情報が明らかになることが期待されます。

4. 研究に用いる情報の種類

当科で妊娠中に腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出手術を受けた患者様の診療記録より、以下の情報を調べて、研究に用います。

患者背景：年齢、体格指数（Body Mass Index）、分娩歴、手術時妊娠週数、腫瘍の大きさ、組織型

手術成績：術式、手術時間、気腹時間、出血量、術後入院期間、手術前後の合併症

妊娠帰結：分娩週数、分娩様式、出生体重

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：産科・婦人科 教授 甲賀 かをり

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院産科・婦人科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

産科・婦人科 教授 甲賀 かをり

043（222）7171 内線6893